AIラボ

所長　中沢 実

AIを様々な分野の既存技術と結びつけることでSociety5.0を実現

「AI」が我々の生活に大きくかかわってきている。iPhoneの「Siri」やGoogleの「Google Home」といった、スマートフォンの音声認識機能には、このAI技術が搭載され、我々はAIそのものを意識することなく恩恵を日々享受している。特に深層学習によってAI技術は飛躍的にその応用分野を拡大し、製造、金融、医療、教育など様々な分野における課題について信頼できそうな“答え”を提供することに成功している。AI技術が係る新しい技術やサービスが企業に収益をもたらす環境が整いつつある状況の中で、これから社会で活躍する学生には、学科を問わずAI技術を活用できる知識とスキルを身につけた人材として、本学を卒業して欲しいと願っている。

本研究所は、

1）社会に大きな影響を与えつつあるAI技術の適用方法に係る研究の推進

2）AI技術を自社の業務やサービスに適用することに積極的な企業との共同研究の推進

3）AI技術の活用ができる技術者の育成のためのAI教育コンテンツの充実

を目的としている。

▲脳波で動く車椅子

▲室内自動栽培システム

RESEARCH THEME：研究テーマ

他分野へのAI技術の適用
社会に大きな影響を与えつつあるAI技術の適用方法に係る研究の推進

企業との共同研究
AI技術を業務やサービスに適用する事に積極的な企業との共同研究の推進

AI教育コンテンツの充実
AI技術の活用ができる技術者の育成のためのAI教育コンテンツの充実

研究キーワード

- Deep Learning
- 画像認識
- 自然言語認識
- 脳波情報による意図推定
- スマートホーム
- Network Function Virtualization
- ソフトウェアの脆弱性検査
- 自律走行システム
- Argument Reality
- 侵入検知システム
- Deep Learning学習環境の自動構築
- 室内自動栽培システム

ほか